

平成24年度事務事業評価シート

平成24年度より自治振興会連携促進事業へ統合

◎基本情報

<b>事務事業名</b>		コミュニティ活動活性化事業		<b>担当部署</b>	市民環境部 市民協働推進課	
<b>総合計画体系</b>				<b>根拠法令 計画など</b>	コミュニティ組織運営補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	5	分権社会に向けた新しい鳴門づくり				
政策(中項目)	1	新しいかたち・市民参加都市 なんと				
(小項目)		コミュニティ				
施策	1	地域のまちづくりの推進				
<b>基本事業</b>	1	コミュニティ活動の推進		<b>事業期間</b>	<b>開始</b>	平成 8 年度
					<b>終期</b>	未定

◎事業概要(PLAN)

<b>事業対象</b>	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 地区自治振興会							
<b>事業目標</b>	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	地域コミュニティ活動の活性化をめざす							
<b>成果目標</b>	事業目標の達成度合	指標名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		地区自治振興会の数		14	14	14	14	14	団体

◎実施結果(DO)

<b>事業実施内容</b>	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	各地区自治振興会が、利用しやすく、さらなる地域の活性化に生かせるよう「コミュニティ組織運営補助金」を22年度に新設した「地域づくり事業活性化補助金」に統合することを検討した。						
<b>事業実施手法</b>		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
<b>指標名</b>		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位	
<b>活動指標</b> 実施した事業の活動量を示す指標	1 地区自治振興会会長の開催	11	10	10	10	10	回	
	2							
<b>成果指標</b> 対象にどのような効果があったか示す指標	地区自治振興会の数	14	14	—	—	—	団体	
	<b>目標達成率(実績/目標)</b>		100.0	—	—	—	%	

<b>コスト分析</b>		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
<b>事業費</b>	(財源内訳の合計)	4,024	4,204	0	0	0	千円	
	財源内訳	国	0	0				
		県	0	0				
		地方債	0	0				
		その他	0	0				
		一般財源	4,024	4,204				
<b>事業にかかる人件費</b> (人件費内訳の合計)	1,303	1,303	0	0	0	人		
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.2	0.2					
	臨時職員等(2,012千円/人)							
<b>総事業費</b>	(事業費と事業にかかる人件費の合計)	5,327	5,507	0	0	0	千円	

【事務事業名：コミュニティ活動活性化事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	地域づくり事業活性化補助金(自治振興会連携促進事業)に統合され活動に活かされている。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8  /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 地域のまちづくりの推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	8  /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8  /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <span style="font-size: 24px;">▼</span> <span style="font-size: 24px;">▼</span>			
	どのように改革するのか				